

# 清陵同窓会報

第8号

## 校舎改築に向けて

会長 山田 六一



同窓会報編集委員会

ついこの間、創立八十周年記念式典が盛大に行われ、清陵同窓会が新たな出発をしたと思つている間に、今年はもう八十七周年を迎える段階に入った。月日のたつのは早いものだ、つくづく感じるものである。

八十周年記念事業の最後であり、又最も困難な仕事であった八十年史の編集も、ようやく昨秋完成し、出版記念会が賑やかに行われ、すべての事業を完了した。



学校長 小田切光威

## 新任のごあいさつ

この四月、矢島五郎校長の後任として、伝統ある清陵高校に着任いたしました。本校には昭和二十八年から六年間お世話になった

間、世相は大きく移りまして、教育の情勢もまた変

か清陵氣質というふうなものには、何かと馴染み深いものが多く、再び参りましたが大変懐しく往時を想起しています。

しかし、それも既に二十数年前のこととなり、この間に世相は大きく移りまして、教育の情勢もまた変

清陵創立の精神から始まつて、八十年の経過が克明にも盛られ、又いろいろな角度から清陵の辿つて来た姿が書かれており、全国にも稀な大変立派なものが出来て、本当に嬉しく思つている。関係者の方々に、心より感謝申し上げる次第である。そうこうしている間に、三年後の昭和六十年には九十周年を迎えることになる。九十周年をどんな風にするか、はつぱら研究準備にかからなければいけないと思う。又皆様方のご意見を伺い、有意義な九十周年にしたいものである。

今年の特記すべき事項として、いよいよ校舎の全面改築が組上りのほり、実現の可能性が高まって来た。このことは既に、会報五号に一度のせられているが、今回は正式に県の計画として取り上げられたものである。ご承知のように、当校は敷地は狭い、建物は老朽化し、かつ雑然としており、一日も早い本格的校舎の完成を、全員が願つてるところである。

昔から人間形成の三大要素として、智徳体が必要といわれており、これは今も変わることはないと思う。特にこの中の体育という問題をとって見ると、本校は敷地の狭あいということから、たが、同窓会が年を追う毎

唱は、何度歌つても心にジーンとくるものであり、清陵の心情を現わすもので、我が心の指針となつていふものと思つた。

又一万数千名の同窓生の、唯一のコミュニケーションである会報も、年々その内容が質量ともに、見事に向

に活発になり、本来の目的である会員間の親睦と、母校との関係が、いよいよ密接になって来まして、心をより嬉しく思います。世

たが、同窓会が年を追う毎



# 校舎改築対策委員会

## 役員、規約できる

### 副幹事長

井上彦次(同窓会常任幹事)

山崎 忠( )

上田善太郎(PTA副会長)

武井秀夫( )

このほか同窓会PTA等の関係役員は、それぞれ

の関わりは、それぞれ

策委員会の常任幹事・幹事

等の役員に就任し、また関

係国会議員・県会議員・市

町村長・議会議員・商工会

議所役員、その他関係者に

は、顧問・参与等の役を委

嘱し、協力をお願いするこ

とになっております。

### 長野県諏訪清陵高等学校校舎改築対策委員会役員

規約にもとづき次の方々

が役員に就任し、また委嘱

されました。

名譽会長

岩本節治(諏訪市長)

会 長

山田六一(同窓会長)

副会長

田中正利(PTA会長)

金子定正(理振理事長)

小口楨三(同窓会副会長)

石井睦蔵( )

河西 勇(前PTA会長)

幹事長

藤森秀雄(諏訪支部長)

### (目的)

第一条 本委員会は、学

校校舎改築に関する諸問

題を取り上げ、よりよい学

校建設に協力することをも

つて目的とする。

### (組織)

第三条 本委員会は、同

窓会員、PTA会員、学校

職員およびその他本会の目

的に賛同するものを委員と

する。

(役員)

第四条 本委員会に次の

役員を置く。

会長、副会長、幹事長、

副幹事長、常任幹事、幹事

会長、および参与

監事、事務局員

(役員の仕事)

第五条 役員の仕事は次

のとおりとする。

会長は会務を総理し、会

を代表する。

副会長は会長を補佐し、

嘱する。

会長事故あるときは、これを代理する。

幹事は幹事会を構成し、

重要事項につき議決する。

常任幹事は会務の運営に

あたり、緊急用務について

は幹事会に代って議決権を

行使する。

(役員を選出および任期)

第六条 本委員会の会長

は学校同窓会長をもってあ

る。

副会長、幹事、常任幹事、

監事、事務局員は委員中か

ら会長がこれを委嘱する。

幹事長、副幹事長は常任

幹事から会長がこれを委

嘱する。

第七条 役員の仕事は本

委員会の目的を達成するま

でとする。

第十二条 本委員会の事

業年度および会計の収支は

毎年四月一日に始まり翌年

三月三十一日に終る。但し、

初年度においては本委員会

発足の日から始まる。

(規約の変更)

第十三条 規約の変更は

幹事会の議決によって行

付則

第九条 本委員会には総

会、幹事会、常任幹事会を

置く。

会議は会長が必要と認め

たときこれを召集する。

(経費)

第十条 本委員会の経費

は学校同窓会、PTA、そ

の他よりの補助金、負担金

寄付金、その他をもってこ

れにあてる。

(会計監査)

第十一条 本委員会の会

計は年一回監査し、幹事会

に報告する。

(事業年度および会計年

度)

第十二条 本委員会の事

業年度および会計の収支は

毎年四月一日に始まり翌年

三月三十一日に終る。但し、

初年度においては本委員会

発足の日から始まる。

(規約の変更)

第十三条 規約の変更は

幹事会の議決によって行

付則

本規約は昭和五十七年

六月一日から施行する。



### 信州随一の豪華リゾート

交通・東京・名古屋より 3時間圏内  
客室・180室(別館含む)  
密収容・800名様( )  
宴会場・500名用・300名用  
スポーツ・一年中泳げる温泉プール  
娯楽・フラメンコ・ショー等  
・クラブ・コーナー  
・コーヒールラウンジ  
大浴場・岩風呂・曲玉風呂  
料理・信玄鍋・天地焼 HOROHORU

## 政府登録国際観光旅館 蓼科グランドホテル 滝の湯

〒391-03 長野県茅野市蓼科温泉 ☎02667-2525(代)

姉妹店 蓼科グランドホテル別館 ☎26667-2700

レストラン サン霧ヶ峰 長野県諏訪市霧ヶ峰 ☎02665-3-6300

新宿で2番目にうまい店

日本料理 ヌメ

西新宿プラザ通り  
ミヨヤ ヨレヤレ  
(348)4080

予約センター ☎026667-3737 TEX3362-437

●東京フロント(348)1515 名古屋フロント(571)8001 大阪フロント(252)5578

代表取締役 柳沢 英次 (45回)  
予約課長 土橋 武晴 (72回)

わが社の仲間

取締役営業部長 柳沢 洋介 (73回)  
柳沢 英伸 (77回)

# 学年だより

を主として、長野県外にある同期生をまとめる在京昭二会と、県内そして県外でも郷里の呼びかけに応ずる人をまとめる在郷昭二会で

在郷は、卒業以来数年に一度位、思い付いたように

東京においては、同期伊東文治郎君逝去の折、その悔

やみの資金を集めてということが機になって、昭二会

と組織化され、年会費徴収も、きまりよく、年次当番

を級長と称し次年度当番を副級長として、在学時代級

長なぞになった事のない者を、よろこばせる政策をた

て、着々と整備した。本年

四月三日、五十六年度級長

津田久蔵が総会を上野御徒

町「吉池」にて開催、副、

上条正広の昇格、副、大塚

勝の新任をきめた。この日、

同窓会を構成する学年会の中に、昭二会と称する会は二つある事を御承知下さい。吾等は入学が昭和二年です。さて当会は、在京者

在郷者にも参加要請があった。諏訪からも四名参加した。

在京在郷合同の会とも、現在である。

時々あるが、昨年十月二十七日、木曽福島町津田屋に

おいて行い、在郷七名、東京八名の参加があった。

在郷は、目下代表幹事制をとおり、小口九郎がそれになつてゐる。任期は、きま

つてゐないが、最低大小二回の会同を主宰して、後任

去る昭和四十九年、吾等

者に譲るといふ。しかし、別に任期はないといふこの不文律が定着するかという

現在である。

なお小口代幹は、本年十月、全国昭二会員に呼びか

けて、大同級会を開く予定

で、八月頃その準備会を開

くそうであるから、小口よ

り要請された者は、是非そ

れに出席されたいとの事で

ある。

六十歳記念同級会の時、列

時、北陸蘆原温泉に北陸五

県商校長会議の席上、倒れ、

われました。

池田誠君 昭57.2.15.六

十八歳一気管支ゼンクで昨

年十一月十三日、諏訪日赤入

院。これはよくなったが再

び悪化、今年二月再入院の

日赤で肺キシュで逝く。

小松克彦君 昭56.1.31

上顎癌の転移で逝去。諏訪市



S56. 10. 23 於東京平河会館

## 珍顔多数の大盛会

### 山紫会(34回生)

毎年一回の山紫会の会合を五十六年十月二十三日東京の当番で、東京平河会館で、開催した所、当番地区級友達の御骨折りで、地元東京地方はもとより、諏訪もまた、速くは名古屋、神戸から、二十九名の参加で大盛会。その都度珍顔が出席するが、今回が最も多く新しい出席者があつた。東京附近に在住する者が多く出席し易いと思つた。珍

しい顔が多く見えたせいか、延長してもらつたが、まだ中学時代の思い出、戦争の体験、終戦時の不況時代の生活苦を生き抜いて来た人それぞれの生き様、そして華やかな経済時代を過ぎ、また不況と、それに加えて皆七十歳になんなんとする年で、なにかと今までと違つた社会に生きて行く事の難しい事等等、話に花が咲いた。会場の制限時間を過ぎ、懐かしい諏訪の唐沢山でやりたいたの多数意見だつた。



の多年にわたるご経験のほ  
とばしこの本は多くの人  
に感銘を与えたものと拝察  
いたします。

四月、辰野町出身の同期  
生吉沢登君の「流る、河は  
「百里」の出版記念会が諏  
訪市で開かれ、同期生多数  
もこれに参加して祝意を表  
しました。同君は東京にあ  
りながら豊富な資料を蒐集  
し、まとめられたものであ  
ります。特に上伊那学生  
団の沿革は貴重なものであ  
り、そのご労苦に心から感  
謝いたします。

九月、卒業以来四十年の  
記念総会の幹事を開き準  
備にあたりました。  
十月二十四日、諏訪観光  
ホテルにて総会を開催。恩  
師として国漢の柳沢英夫先  
生、数学の吉江幸一郎先生  
中山政市先生、柔道の北沢  
芳五郎先生のご出席をいた  
だき、また国漢の堀内茂先  
生からは御酒料をわざわざ  
お送りいただきました。会  
員は全国から会する者五十  
六名に達し、所用のため欠

席の諸君も多数でした。思  
ながら時間が少なかったの  
が心残りでした。お互いの  
健斗を祈りつつ散会。宿泊  
して夜を徹した者も十名ほ  
どありました。  
十一月、下諏訪町出身の  
伊藤光昭君が病のため亡く  
なられ、その埋骨式が小泉  
寺で行われましたので幹事  
い申し上げます。

有志が参列し、お別れをい  
たしました。  
五十七年二月、地理の矢  
沢大三先生が紫綬褒章を受  
章されたのに伴い、東京周  
辺在住の有志が祝意を表し、  
ご発展を祈って報告にかえ  
させていただきます。  
(幹事・宮沢治)

# 当番幹事に結束 意気盛んな46回生



意気盛んな46期生同年会出席メンバー

十六期生の最近の勢いは、  
正にそのものズバリの感が  
あります。  
昨年、同窓会総会の副幹  
事を務め、本年は当番幹事  
の大役を果たすことになつ

ていますが、それを契機に  
同年会の結束を固める必要  
に迫られたということもあ  
るでしょう。昨年三月六日  
には諏訪市の湖泉荘に二十  
二名が出席して七年ぶりに  
同年会を開催、同六月二十  
八日には同窓会総会の後、  
湖泉荘に十七人が参集、恩  
師の矢崎亀重、西沢一成両  
先生をお招きして、総会の  
成功を祝い合いました。  
また、本年三月六日には  
湖泉荘に二十二人が集まり  
当番幹事の重責をいかに分  
担するかを協議、総会に向  
けて団結力の強化を誓いま  
した。この日は恩師の小林  
尊志先生が長野市から駆け  
つけて下さったのをはじめ

**kominar**

## 世界へ雄飛

歴史と伝統にはくくまれた  
美しいレンズが  
Kominar のブランドに磨きをかけて  
さらに充実して海外へ輸出されています

レンズ・カメラの総合メーカー

# 日東光学株式会社

諏訪 東京

**X-Kominar**  
28mmf/2.8DM  
(海外のみ)

東京支部からは幹事の小泉和明、増沢喜美夫の両君、「冒頭に「堰を切ったよう早大教授の伊藤（宮坂）礼吉君が出席、錦上花を添えてくれました。」

席上、懐旧談に花を咲かせたのはもちろん、当番幹事の年を記念して、何かをやらうとの議が持ち上がり、①総会后、会員の文集をつくらう。②県下の伝統校で同窓会館を持たぬのは清陵同窓会だけだ。これではいかにも情けない。われわれ四十六期生が同窓会館建設の火付け役を果たそう

「二案を決議しました。冒頭に「堰を切ったよう」な」と書きましたが、堰を切っても、その上に水が溢えられていなければ、水勢はつきません。四十六期生の場合、清陵高校創立八十周年の際、同年会を開いただけで、後は中断したままになっていたのが、結果的に堰の上の貯水を増やしたと言えるでしょう。人の世は何が幸いするかわかったものではありません。



簡単でした。要は今後の対処にあります。四十六期生が進んで、縁の下の力持ちになれるよう努めたいと存じます。(学年幹事・田中吉泰、大和武美)



## 両会旗のもとに

### 互励会(50回生)

第五十回生の集いを互励会と言います。五〇を音読みし、互いに励ます意味をこめて作りしました。八十周年の際、同年生から集めさせていただいた寄付の割り戻し金で諏訪互励会と東京互励会の二つの旗をつくりました。私たちは諏訪中学と清陵とまたがっ

たために両面を利用し諏訪中と、清陵の校章をしつらえました。この旗を同年会の際に会場にかざり旧交を暖めています。私たちもあと五年程すると同窓会の当番になります。まだ会員は連絡してありませんが清陵の同窓会の仕事を通じ互励会により以上の結束を図ります。(互励会幹事・有賀裕)

諏訪湖畔・諏訪湖ヨットハーバー前

**生かむ・うどん**

**萬盛庵**

諏訪市高島3丁目1201~78  
 諏訪 02665⑧5543  
 池上典男 (59回生)

## くらしと産業に奉仕する三協グループ



# 三協精機

株式会社三協精機製作所  
 伊那三協株式会社  
 飯田三協株式会社

代表取締役会長 山田正彦 代表取締役副社長 山田六一 (35回生)  
 代表取締役社長 久保田実 専務取締役 今井芳樹 (42回生)

本社・工場 長野県諏訪郡下諏訪町5329 〒393 TEL 02662 ⑦ 3111  
 東京支店 東京都港区新橋1-17-2 〒105 TEL 03(502) 3711

大阪・名古屋・静岡・福岡・ニューヨーク・ロスアンゼルス・デュッセルドルフ・香港・マレーシア

# ゴルフのあと一杯

## お元気ですか、61回生

当番幹事の引継ぎよろし

会場の望月楼は、同年生

牛山君、上諏訪土橋君、下

く、丁度一年後の八月一日 花岡孝光君の親戚が諏訪湖  
上諏訪地区当番で下諏訪町 畔にホテルを新築したとの

の「望月楼」で開きました。事で、その口添えもあって  
上諏訪地区当番は、市役所 大名気分を味わうことがで

勤務が三人居るので度々都 きました。

合良く利用？され、これま 諏訪の各地区に連絡者を  
でもちよいちよい当番にな お願ひし、富士見は小笠原  
って開催してきました。 君、原は小池君、茅野市は



ややさみしかった学年会

厄年を過ぎていよいよ油

の乗りきった中年？にさし

かり、社会的にも、家庭

においても一番忙しい盛り

と思ひ一方的に連絡を遠慮

してしまいました。

せっかく連絡しあうなら

というこで希望者は「諏

訪レイクヒルカントリーク

ラブ」でゴルフコンペも開  
き、開会の六時には日焼け  
した顔、下腹の出た者など  
十五人が集まりました。  
当番が悪かったのか、時  
期が悪かったのか期待に反  
して少なく、同じ顔ぶれが  
多かったようです。  
子供も中学から高校の頃

ローン返済、学資の心配と  
この方も忙しいのは筆者だ  
けでしょうか。  
あと十年もすれば旧友の  
顔が見たくなり、自然に大  
勢が集まってくるのを期待  
しつつペンを置きます。  
(当番・矢島 穆)

## 毎月の集い120回 けっこう会(68回生)

十一年余りの間に会員も十  
七名に増え、百二十回の月  
例会を開催して交情を深め  
て来ました。

「けっこう会」という名  
称は、皆が集うことが結  
構」ということで即決とな  
り、祝いには結構会、行動

時には決行会等それぞれの  
場で使い分けています。毎  
月の例会は、新年会等年中

行事、花見やキノコ狩り等  
季節行事、マラソンやポー  
リング等スポーツ行事、マ

ージャンや釣等娯楽行事で  
企画は幹事一任で開催して  
きています。また、行事の

例会の外に、年一度の旅行  
を樂しむ、見舞や祝い、壮  
れの道を歩み出し、以来六

行会、結婚式等お互いの人  
生の節々に参集し、肩を寄  
年余りして、社会にやっ  
根をおろし始めました。そ  
せ合っています。

の頃、諏訪で顔を会わせた  
旧知の同期生七名で、「け  
っこう会」と聞かれた時、はて  
「けっこう会」を結成し、以後  
と返答に窮します。会員は

## 新しいアイデア うつくしい表現



### 株式会社 中央企画

〒392 諏訪市四賀桑原 8 2 | ☎(02665) 8-2382(代)

### 中央印刷株式会社

〒394 岡谷市川岸 1 0 8 ☎(02662) 2-5551(代)

●東京営業所 ☎(03)268 1570(代) ●諏訪営業所 ☎(02665)8 2382(代)

●東京工場 ☎(03)269 0221(代) ●伊那工場(カイト印刷) ☎(026579)3723(代)



けっこう会月例会ソフトボール大会

☆清陵出てから三十年  
1 第五十二回・五十五回  
同期学年会昭和二十七年卒  
業生は、本年で満三十年と  
なりました。これを記念し  
し次のお祝い会を開催  
することに決定しました。

日時 五十七年九月十一  
日午後六時から

場所 諏訪シティホテル  
成田屋(並木通り)

夫婦同伴として、恩師多  
数を招待し、併せて去る二  
月に山口県警本部長となつ  
た波多秀夫君の激励会とし  
たい。

祝賀会幹事代表に三井光

在学中に特別な親交があつた訳でもなく、それぞれの青春を謳歌し、社会に漕ぎ出してからは、十人十色の場で活躍しています。

「けっこう会」とは、清陵高校(青春時代を同核とし、盃を酌み交すのが好きな者の集まりで、その目的は、相互の生きざまの中から結果として創り出されて来るもので、特別掲げない……と

「最後に、男女共学世代の清陵生による、新しい人間関係の構築を熱望して筆をおきます。」(伊藤)

68回生の第4回同窓会は今年度の秋に茅野市・富士見町の当番幹事で開催の予定です。多数の参加を期待しています。

### 告知板

之君と決定。選出幹事において午後七時から開催

2 同期学年会から昭和五十六年度清陵PTA会長に河西勇副会長に田中正利、下村幹夫、施設委員長に三井光之、厚生委員長に宮坂彰、理事に小松清一君等、新昭和五十七年度PTA会長に田中正利、前会長河西勇、副会長浦野実、厚生委員長宮坂彰君等が選出された。学校改築問題があり大変なことになるそう。

3 同期会の月例会が毎月七日に諏訪市内「守安肉店」



## 武井外科医院

院長 武井秀夫 (50回生)

〒393 諏訪郡下諏訪町大社通り3238  
TEL 02662 ⑦ 8029

ご宿泊ご宴会に是非ご利用ください。

上諏訪温泉・国際観光旅館・日観連会員

# スワシティホテル 成田屋

松沢一夫 (40回)

諏訪市大手並木通り TEL (2)-4500(代)

# 同窓会館の実現を一

## 用地、資金、維持管理に難問

### 特集

母校の校舎改築については、過日対策委員会が発足し、実現に向けて一歩踏み出しましたが、これに併せ、同窓会館を建設したいとの声が、同窓生の間で強まっています。

現状では、校舎敷地内にある三沢文庫が宝の持ち腐れ状態になっていることや、菊池久吉先生、新田次郎氏らの資料などをまとめて管理したい、との要望が出ていることもあり、これらを一堂に集める必要性も高くなってきました。

そこで、会報委員会では参考までに県下四高校の同窓会館の現状、計画などを調べてみました。各高校とも、用地確保、建設資金、維持管理費の三点が建設の際の大きな問題だったようです。特に、用地は原則として校地が使えず、同窓会が隣接地などを独自に確保しなくてはなりません。また、建設資金も同様で、県等の補助金が見込めないため、全額を同窓生の寄付に頼らざるを得ない現状のようですし、維持管理にも難しい面があります。

しかし、同窓生の心の寄りどころとして、会議等に自由に利用できる同窓会館の実現が望ましいこととはいうまでもありません。今後、こうした問題をひとつずつ解決し、会館建設のメドを一日も早くつけたいものです。

## 70周年事業の目玉

### 食堂も併設 「岡工会館」

岡工会館は、岡谷工業高 校生が共に利用できるよう

校同窓会が昨年、学校創立 に設計されています。一階

七十周年記念事業の目玉と は同窓会事務室(建物管理

して校舎南東側に建設しま 事務所)、百三十五人収容

した。約一億円かけた立派 の大食堂、和室(十五畳)、

な建物で、鉄筋コンクリー 浴室を備え、昨年三月に完

ト二階建て、延べ約六百平 成した合宿所と合わせて生

方以上の規模です。 徒の活発なクラブ活動の便

岡工会館は、卒業生、在 宜を図っています。

諏訪畜系学校時代の思い出の品などが保管されています。

会館入り口は、今井新道

側(正面)と本校舎側の両

方に設けられており、同窓

生、在校生双方に親しま

る造り。特に一階の食堂で

は、伸び盛りの生徒たちに

安くてボリュームのあるメ

ニューを用意しており、喜

ばれています。

会館の建設は、同窓会の

永年の夢でした。学校創立

四十周年の記念事業の中に



立派に完成した岡工会館

既に盛り込まれ、昭和二十六年からは用地(約七百平方メートル)の買収が一部始まっていたほど。土地など財産の管理母体を明確にするため同窓会を社団法人化し、敷地を次第に広げるなど、時の熟すのを待ちながら準備を着々と整えていきました。もう一つの永年の懸案だった校舎全面改築と施設機器の拡充は、創立六十周年記念事業で推進。完成の見

通しがついたことから、岡工会館建設はいよいよ創立七十周年記念事業のメインにすえられ、昨年十一月に完成の運びとなりました。

岡工の同窓生は約一万三千人。建設費は、全額同窓生からの募金によるものです。会館は、各種会合や行事に利用されており、心のよりどころとして親しまれております。



# 盛大に記念式典

## 宿願の「八十年史」刊行

念願であった「清陵八十  
年史」の刊行を何として  
も秋までにはとのせっぱ  
つまった気持ちで編集を急  
製本となり、翌日の刊行記



盛大に行われた年史刊行記念式典

がせ、編集委員の努力と中  
央印刷株の絶大な協力のも  
を十一月三日に設定し、そ  
の準備はあらかじめ四十五  
回、四十六回生の有志の同  
窓生を中心に進め、田中吉  
泰会報委員長指揮のもと会  
報特集号(年史特集)の発  
行を行い、年史刊行記念会  
に向けての資金づくり等を行  
ってきたところである。

十一月三日の当日は、新  
装成ったばかりの諏訪市シ  
ティホテル成田屋(松沢一  
夫社長・四十回生)の大広  
間を会場として同窓生、関  
係者約二百名の参集を得て、  
盛大な清陵八十年史刊行記  
念会が挙行されたのである。  
来場者にはささやかではあ  
ったが記念品を贈呈し、年  
史刊行にたくに功績のあつ  
た方々に感謝状と記念品を  
贈呈した。編集関係の方々

は今井信雄、岩波泰明、小  
口祐一、平島佐一、矢島寿  
雄、牛山皓司、高木昭彦、  
古原正之、平林トシ子のみ  
なさんと、この刊行記念会  
に多大の貢献をされた「流  
る、河は一百里」の吉沢登  
氏、中央印刷株、である。  
内輪の記念会のため、矢  
島五郎諏訪清陵高校校長と  
大森栄顧問の祝辞だけにと  
どめる簡素な記念会ではあ  
ったが、東京からも小口積  
三副会長、林百郎代議士を  
はじめ多くの同窓生も出席  
され、また年史編集途上で  
物故された、小沢俊雄、原  
田福太郎、牛山正雄各先生  
の奥さんをお招きして感謝  
の意を捧げるとともに、諏  
訪中学校、諏訪清陵高校を  
通じて始めてできた豪華な  
清陵八十年史に祝福をし、  
数多くの同窓生に誦読され  
よう念願してやまない次  
第である。

同窓生、関係者のみなさん  
方に厚くお礼を申しあげ、  
今後とも一層のご支援をお  
願い申しあげる次第である。  
山崎忠  
(46回生・山崎忠)

### 学校の現況

三百十九名の卒業生を送  
り、二百七十名の新入生を  
迎えて、五十七年度はスタ  
ートしました。今年に入っ  
て生徒指導上の問題もなく、  
新年度は落ち着いて諸活動  
に専念できることは誠に喜  
ばしいことです。

矢島校長先生ほか九名の  
先生方が退職(三)、転任  
(七)され、新たに小田切新  
校長先生、新規採用(家庭  
科)一名を含む十名の先生  
方が赴任されました。

今年度は新教育課程実施  
一年目に当り、新一年生に  
は週一時間の特設「ゆとり  
の時間」が日課制限の中に  
組み込まれており、その趣  
旨を生かし、特色あるもの  
を築いてまいります。

## 清陵八十年史(960ページ)

TEL 02665580356

諏訪市清水一の一〇の一  
諏訪清陵高校同窓会  
事務局へ

諏訪中、清陵高八十五年の  
歴史を克明に登載した  
豪華版!!  
限定出版  
残部 わずかに  
九百部  
実費 五、〇〇〇円  
(送料込み)

もう二度とこんな出版は出  
来ません。  
早いもの勝ち!

卒業生の進路では、就職  
者数名のほかは進学希望者  
ですが、合格者は国公立大  
関係各位の絶大なる御理解  
と御協力なしには理想とす  
る校舎は実現できません。  
学校側では現地を根拠とし  
て改築するということの前提に  
立って進めています。

ここに改めて、同窓の諸  
兄弟に深甚なる御支援をお  
願ひする次第であります。  
(教頭・工藤芳久)

営業品目

時計・宝石・メガネ・レコード店



株式会社

ヤマザキ

諏訪市諏訪 1-3-11

TEL 2-5200(代)

- 社長 山崎 壮一 (51回生)
- 専務 山崎 篤 (67回生)
- 伊藤 博 (63回生)
- 原 英 充 (65回生)
- 岩波 秀成 (66回生)
- 柳沢 秀生 (74回生)
- 八幡 昭憲 (77回生)

古いのれんと新しい設備

政府登録国際観光旅館

鷺の湯

諏訪観光ホテル

代表取締役 伊東克郎 (第50回)

〒372-2 諏訪市湖岸通り三二二-14  
電話 (0265) 二〇四八〇(代)

# (有)米屋金物店

〒391 茅野市宮川 4430

TEL 02667 2-2023

代表取締役 伊藤 治夫 (36回生)

# 矢嶋内科医院

院長 矢嶋 淳 (第46回)

茅野市 ちの駅前

TEL (02667) ②-2048

# 季節料理

シャブシャブ料理

天ぷら  
割烹

# 仙岳

湖明館通り 電話⑧3515(代)  
〔駐車場完備〕

ふるさとの味を求めて…

日本一ちっぽけなそば処  
丸いお屋根の



# (有) 田毎庵

代表取締役 田中吉泰 (46回生)  
諏訪市中州下金子(白狐線入る)  
電話(諏訪)表 8-0106番  
〔駐車場完備〕

肥料・飼料  
農資・農薬



醸造原料  
ストープ

# 茶屋商事株式会社

代表取締役社長 小口達雄 (42回生)  
〔本 社〕 諏訪市大字中州字曾根田4808  
TEL 諏訪 2-6500(代)

お味噌は

歳月と自然の贈りもの  
故里の味をおとどけする

# ひかり味噌株式会社

取締役社長 林 保晴 本社工場 長野県諏訪郡下諏訪町 4848 の 1  
専務取締役(58回生) 林 善八郎 飯島グリーン工場 長野県上伊那郡飯島町大字田切字川原1145の8  
専務取締役(64回生) 林 博優 東京営業所 東京都日野市東豊田 4 の 25 の 7

「つづく者なきや」の稿

# 新田次郎に

## つづく者なきや

穂水坂宮 (31回生)



78 2 16

小中学校同級の畏友新田次郎こと藤原寛人君が急逝して、以来、二年余が経過した。昨年四月、その一周忌の法要が墓地のある正願寺で行われたが、これを契機に「スワこぶしの会」が発足した。新田君を偲び、

その業績を顕彰する為の有志の集まりである。柄にもなく全くの門外漢の小生が、会長などと云うものに祭り上げられて今日に致つてい

な会である。折角のこの秀麗なる風土に在り作ら、何となく文化の香りの乏しいような状況に省みて、一服の清涼剤ともなれば幸いと

思うのである。同窓生諸賢の気楽な御参会をお願いしたい。

さて本年は四月十一日に第二回の会合を持つ事が出来た。少々早すぎて、彼の墓前に捧ぐる故人愛好のこぶしの花を探すのに「苦勞した」。

今回は伊那の川手貞則先生をお願いして、聖廟の碑、取材当時のお話を伺つて大変興味が深かった。又未亡人の藤原ていさんから新田次郎君の生原稿・蔵書・其他遺品一切をこの諏訪の地に移管保存したいとの意向が表明された。会として全面賛成であつたが、

さて藤原ていさんの私財を投じての御努力によるものである。目的は、故新田次郎の功績を記念して、広く同窓生諸賢の中から、彼新田次郎につづく者が一人や二人現われてもよきそつなものである。

一、第二回受賞決定は八月頃発表は「小説新潮」誌上  
一、選考委員 井上靖、尾崎秀樹、城山三郎、戸川幸夫、水上勉、吉村昭、山本健吉(五十七・五二七)

さて具体策となると仲々難しい。市当局にもお願いせねばなるまい。目下役員で

第一回の文学賞の候補作品

第一回新田次郎文学賞規

病気欠席で代理の野口富士男氏から「新田さんが協会の理事として、会議の進め方、經理の面で極めてテキパキと処理された」とその功績をたたえ、あたかもそれは象徴の役人的性格として高く評価されていた。

# 新田さんという人

38回生 青木 正博

新田さんが亡くなって、早くも二年の月日が過ぎた。命日の二月十五日夕刻、日本文芸家協会が主催した宮城前の東京会館での「新田

次郎を偲ぶ会」には、約三百名の出席者がつめかけた。中央に飾られた写真の前で

「自分もそれを目指していく、一度酒を酌み交わしたいと思つていたが、残念なことをした」と述べた。理事長の山本健吉氏は

「新田さんは「強力伝」で世に出た。サンデー毎日の



市情 昭和五十六年八月四日、

# 八十年の伝統に快拳

## 清陵ボート部全国優勝

昭和五十六年八月四日、この日は、伝統ある本校の端艇部槽艇競技にとって、宿願の全国制覇を成し遂げ

た日である。八月一日から四日間、茨城県潮来町槽艇（インターハイ）における男子舵付スニア（シエル・フォア）の優勝である。



全日本インターハイシエルフォア優勝祝賀会

されてからは五十年戸田大祝宴を催した次第である。五位、五十一年石川大会 同窓生各位にも戦跡の概況を御報告し、この喜びを、各地のレガッタでも何分ち合せて頂きたい。

この優勝の快拳は祝福し一位 諏訪清陵（長野）てあまりある。早速、P.T 二位 瀬田工業（滋賀）A、同窓生、諏訪槽艇会な三位 湖 南（福島）どボート愛好の士々相語ら四位 東洋大牛久（茨城）い、八月九日、全国大会優五位 石 巻（宮城）勝祝賀会を開催。選手諸君 六位 小松商（石川）の健闘をたたえ、今後の発展を期待して敬意を表し（長野県槽艇協会副会長 河西勇 55回生）

### 「青春の日の歌声」

資料提供を乞う

昭和二十二年十二月、諏訪清陵二葉（当時諏訪中）女子）混声合唱が発足した。清陵にはまだピアノもなかった時代で、当時としては画期的な出来事であったが、音楽的対する希求が沸々と湧き出る世相を母胎に、純粋に歌うことを喜びとする

## 河西勇事務所

士書士 士地家屋調査士 士社会保険労務士

諏訪清陵会（ボート部OB）会長

諏訪市湖岸通り4-8-7（河西ビル）

TEL (02665) 8-5315

三十有余年を過ごし、社会経済も高度成長から不況へと移り変わり、何となく味気ない精神的その日暮らしを送っている昨今、心の潤いを求めて往時を懐しむ有志の集まりが何回かもたれている。多くの方はセンチメンタリズムと笑うかも知れない。しかし、白髪交りの熟年男女の醸し出すハイモニーは、多少の音質の変化は仕方ないものの、青春の日のロマンを再現し、言い知れぬ感銘を喚起してくれる。

こんな空気の中から、当時の歴史を想起して具体的な記述として遺そうではないかと、小冊子「青春の日の歌声」の刊行企画が発案され、当時の写真、楽譜、記録等の収集作業を始めた。関係者には働きかけをすすめているが、他の同窓生諸君に適当な資料を保存されている方がありましたら御提供をお願いします。  
(今井秀夫・49回生 岡谷市神明町3-21-18)

# 平山 医院

院長 平山正健 (33回生)

〒393 諏訪郡下諏訪町3149の7

TEL 02662 7-8053

ご子弟の免許取得には

(東京方面の方は20日間で卒業できる合宿教習で)

長野県公安委員会公認

## 茅野自動車学校

茅野市宮川坂室5299番地 電話 02667-2-4111

代表取締役 桑 沢 和 夫 (47回生)

専務取締役 矢 崎 齐 男 (51回生)

渉外部長 上 条 雅 夫 (50回生)

# 物の漬のモ

野沢菜・山午莩  
各種漬物・製造販売

有限会社

## 丸モ高木醸造店

代表取締役 高木常雄(33回)

岡谷市今井区1870 TEL ②-2619(代)

配給センター

岡谷市小井川7658 TEL ③-0200(代)

# 支部だより

## 諏訪支部

の諏訪支部総会を開催しました。山田六一本会会長並びに矢島五郎学校長をはじめ、五十余名(申込は六十名)の会員が出席され



諏訪支部総会

て、定刻をはるかに過ぎて夜遅くまで歓談が続きました。同じ清水ヶ丘の学舎で学んだ者同志、多少年齢の差はあっても一年に一回こうして一堂に会し、先輩、同輩、後輩が昔に立ちかえり、紅顔可憐な夢多き青春より熟年までが胸襟を開き歓談し、或は旧交を温め、或は将来を語るは本当に意義のあるものと思われまふ。もつとも、当日出席し得ただけでも身体が丈夫で、いろいろの意味で恵まれている方であつて初めて出席が来たのであつて、幸せな事だと思つてあります。

今回は必ず女性会員、若い世代の会員を含めて一〇名以上にしたいと来会者一同の所感であり熱意でありました。又昨年引き続き、副会長の石井睦蔵先生による「江戸時代の貨幣」その二について、大変ユニークな興味深いお話を聴き、総会に花を添えていただきました。

「議事」諏訪支部の運営方針について、山崎(忠)事務長(A)地区毎に会員の実態把握(本部へ氏名を通告すること) (B)運営資金について資金が全然無いので何等の方策で資金づくりをする事 (C)支部会報の発行 (D)弔旗の手分担任葬儀に支部旗を手別けて飾る。 (E)地区役員を別表通りたのも (F)その他八十年史残部あり購入方依頼 終会終了後懇親会に入り、諏訪支部長平山正健君と私酒問何かと歓談、校歌一部が残りながら合唱、余韻が残る中で別れを惜しみつつ帰路につく。

本総会に備えて去る一月二十二日、吉田屋別館に於て諏訪清陵高校同窓会諏訪支部及び上諏訪地区合同の役員会を開催し、総会の細部について御協議をいたしたのですが、その際出席者役員(当日十二名出席)の方々が、それぞれ口口にやる気を出して出席を勧誘して下さい、来年の支部総会には絶対百人以上集めると、熱意を以てお話し下さつて、本当に嬉しく心強く頼もしく思うと同時に、心から感謝申上げる次第です。

実は去る四月三日に東京御徒町駅前吉池六丁目イ料理という処で、私共東京在住の在京昭二会の主催で同級会を開催、二十名ばかりの集りでしたが、たまたま諏訪から上京した中に、岡谷支部長高木常雄君、下諏訪支部長平山正健君と私の三人がおり、現在それが支部長で、どうした偶然のめぐり合せか等と話し合ったのです。閑話休題、終りに、どうか若い諸君、女性諸君の奮つての御出席を願つて、支部総会に清新な風を送り込み、活力を与えて下さるよう御配慮賜わらん事を心から御願ひ致します。

(支部長・藤森秀雄)



グループ協三 精神科・内科 産業と

医療法人社団いちい会

# 吉沢病院

利雄 登 (39回) 共 (42回) 共 (86回)

院長 長任事 吉沢 利雄 登

理院常理 吉沢 登

東京都町田市小野路町1632番地 TEL 0227-35-2621(代)





# 東京支部

台風二四号による交通機  
 関の混乱にもめげず、一六  
 回生の長老から七六回生の  
 フレッシュマンまで、その  
 年齢差六十歳の同窓生約百  
 七十人が一同に会し、たい  
 へん盛会だった。

東京支部総会の設営と運  
 営は、本部に準拠し、各学  
 年が順次回り持ちで行うこ  
 ととなっており、今回は四  
 五回生が当番学年として担  
 当した。

冒頭、物故会員に対して  
 黙とうを捧げ、心から二回  
 福を祈った。



東京支部総会

設置問題と年会費問題に触  
 れ協力求めた。引き続き  
 常任幹事の保延醇一氏(四  
 二回)が会務、決算報告を  
 行い、万場一致で承認され  
 た。祝辞は、遠路わざわざ出  
 席された同窓会長・山田六  
 一氏(三五回)から、同窓  
 会本部、各支部の総会の概  
 況、湖周マラソン、うし  
 まさ坂の碑、建設等につい  
 て、同窓会副会長・石井睦  
 蔵氏(三七回)からは八十  
 年史刊行の進捗状況につい  
 て、さらに学校長代理とし  
 て事務長の山崎忠氏(四六  
 回)から、祝辞に添えて清  
 陵高校の近況が報告された。  
 司会者が懇親会の時間を長  
 くとりたいため、式は短か  
 く、とりどしたため、話  
 し足りないご不満もあつた  
 ようであるが、一般出席者  
 にはかえって好評だった。

東京支部長の小口楨三氏  
 (三六回)はあいさつの中  
 で、特に懸案の支部事務所  
 設置問題と年会費問題に触  
 れ協力求めた。引き続き  
 常任幹事の保延醇一氏(四  
 二回)が会務、決算報告を  
 行い、万場一致で承認され  
 た。祝辞は、遠路わざわざ出  
 席された同窓会長・山田六  
 一氏(三五回)から、同窓  
 会本部、各支部の総会の概  
 況、湖周マラソン、うし  
 まさ坂の碑、建設等につい  
 て、同窓会副会長・石井睦  
 蔵氏(三七回)からは八十  
 年史刊行の進捗状況につい  
 て、さらに学校長代理とし  
 て事務長の山崎忠氏(四六  
 回)から、祝辞に添えて清  
 陵高校の近況が報告された。  
 司会者が懇親会の時間を長  
 くとりたいため、式は短か  
 く、とりどしたため、話  
 し足りないご不満もあつた  
 ようであるが、一般出席者  
 にはかえって好評だった。

懇親会は長老の小松六也  
 氏(二六回)による鑑制り  
 が、四六回学年幹事・小菅  
 重男氏(元清陵高校校長)の  
 介添えて万雷の拍手のうち  
 帯感を再認識でき、二十四  
 に行われ、柴田正象氏(一  
 八回)の元氣な乾杯の音頭  
 でにぎやかに始まった。年  
 次を越えての懇談が交錯す  
 る中で、平出賢氏(二〇回)  
 のお孫さんによる津軽三味  
 線と民謡が華を添え、ヤン  
 ヤの喝采を浴びて、宴をい  
 やがうえにも盛り上げたこ  
 とは特筆に値しよう。  
 久しぶりの集いのため、  
 予定の時間はあつという間  
 に過ぎ、全員で校歌をのど  
 もさげよと声張り上げて歌  
 い、感激がクライマックス  
 に達したところで、矢島八  
 州夫氏(一九回)の音頭に  
 よる万歳で締めくくった。  
 最後は恒例により次回担  
 当の小泉和明氏(一九回)  
 から、祝辞に添えて、五十  
 年史刊行の進捗状況につい  
 て、さらに学校長代理とし  
 て事務長の山崎忠氏(四六  
 回)から、祝辞に添えて清  
 陵高校の近況が報告された。  
 司会者が懇親会の時間を長  
 くとりたいため、式は短か  
 く、とりどしたため、話  
 し足りないご不満もあつた  
 ようであるが、一般出席者  
 にはかえって好評だった。

今回の総会を運営して感  
 じたことは、当番学年とし  
 て、準備のための同級生に  
 対して、なん十年ぶりに連  
 帯感を再認識でき、二十四  
 名の出席協力を得られ、と  
 にかく成功に導けたことは  
 何よりの収穫であった。反  
 面、若い同窓生の出席が極  
 めて少なかったことが残念  
 に思われると共に、女性四  
 名の参加を得られたことは  
 報告に値する。  
 いずれにしても総会の今  
 後のあり方を改めて考え直  
 す必要があることを申し添  
 え、次回の盛會を心からお  
 祈りする次第である。

## 下諏訪支部



下諏訪支部総会

部活動の盛り上りのための  
 新しい体勢作りと、新たな  
 勢を更に強化補強し、人事  
 を支部長に一任するに決し  
 た。  
 総力を挙げての協力を要請  
 の経過を報告し、会員の諒  
 承を得た。  
 続いて武井幹事より支部  
 経過報告の後、三井章義幹  
 事より会計報告を行い、役  
 員改選に入る。司会者より  
 改選方法につき意見を求め、  
 現幹事に一任という発言あ  
 り、賛成多数につき別室に  
 いて石井副会長より八十周  
 年記念事業終結後の同窓会

五月二十八日午後七時よ  
 り、町内うらかめ屋に於て  
 支部総会を開催する。三十  
 数名の参加にて、学校側よ  
 り小田切新校長所用にて出  
 張のため工藤教頭、本部よ  
 り石井副会長、総務の井上  
 会報委員長の田中両氏、山  
 崎前事務局長を迎え、賑やか  
 な幕開けとなった。  
 武井秀夫幹事の司会にて

運営の見通し、校舎改築に  
 ついての経緯及び今後の対  
 策についての説明があり祝  
 辞を終る。

その後、山田同窓会長よ  
 り寄せられた支部長宛の祝  
 文を披露し祝宴に入る。二  
 十六回生中村文武氏の音頭  
 にて乾杯、肝胆相照らし、

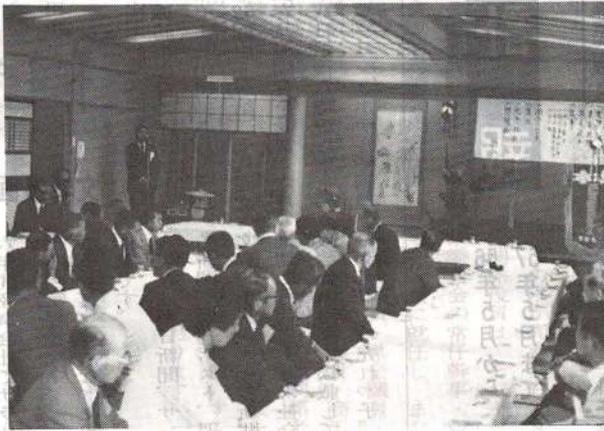
宴は勿ち佳境に入る。話題  
 はつきす、今後の支部結束  
 の強化、積極的活動につい  
 ての意見統出、意気大いに  
 揚り、随所に益々盛となり  
 昔を語りつつ時の経つを忘  
 れた。

終りに清陵校歌第一、第  
 二、更に金色の民、あなう

れしまで歌い上げ、田中氏  
 (会報)が万歳の音頭をと  
 る。支部の盛り上りは人を  
 集める事であり、更に情熱  
 をもって頑張ってもらいた  
 いとの激励も力を帯びて、  
 下諏訪支部の万歳、つづい  
 て諏訪清陵高校、最後に諏  
 訪中学の万歳まで出て意気  
 盛り上りは充分であったが、

参会者の数が例年に比して  
 少く、稍もの足りなさを感じた。次回からは常任幹事  
 の数を増やし、広い年代層  
 に呼びかけ、裾野を広げ、人  
 を集める事を最大の課題と  
 する事を約束し合った。

(支部長・平山正健)



茅野支部総会

### 茅野支部

五月晴れの十六日午後二  
 時より、駅近くの真砂会場  
 に於て開催された。集う同  
 窓生実に八十九名、本部来  
 賓を加えると九十五名の盛  
 況で、会員の喜びは深かつ

た。

あいに山浦地方は陽気  
 良く、田植期が集中しての  
 会員が多かつたにしては、  
 驚く程の参会といひ得る。

かつて、原地区と合同支  
 部の折に開かれた時は、役  
 員数の域にあり、その後少  
 減となり、母  
 長各氏よりの賛辞と励まし  
 が身にしみた。清陵でなく、  
 「諏訪清陵」ときちんと言え  
 ば肝にひやりとした。

伊藤支部長が慣例にも依  
 り議長席につき、支部の今  
 後を語った。総会を契機に  
 更には市会員名簿を整備し  
 未端役員編成を進め、在外  
 会員への連携を深め、当支  
 部組織を固め、本会と一体  
 化態勢を進めることとなつ  
 た。支部長以下幹事迄の役  
 員十二名の承認があつて、  
 副支部長・牛山保登

に於て開催された。集う同  
 窓生実に八十九名、本部来  
 賓を加えると九十五名の盛  
 況で、会員の喜びは深かつ  
 た。

あいに山浦地方は陽気  
 良く、田植期が集中しての  
 会員が多かつたにしては、  
 驚く程の参会といひ得る。

かつて、原地区と合同支  
 部の折に開かれた時は、役  
 員数の域にあり、その後少  
 減となり、母  
 長各氏よりの賛辞と励まし  
 が身にしみた。清陵でなく、  
 「諏訪清陵」ときちんと言え  
 ば肝にひやりとした。

伊藤支部長が慣例にも依  
 り議長席につき、支部の今  
 後を語った。総会を契機に  
 更には市会員名簿を整備し  
 未端役員編成を進め、在外  
 会員への連携を深め、当支  
 部組織を固め、本会と一体  
 化態勢を進めることとなつ  
 た。支部長以下幹事迄の役  
 員十二名の承認があつて、  
 副支部長・牛山保登

## 病院 田中クリニック

院長 (外科・麻酔科) 田中 正利 (第52回生)  
 副院長 (内科・小児科) 田中 マキ子

諏訪市元町18番11号 電話諏訪(2)2343番

# トピックス

## 文春漫画賞に山田さん

山田さんは諏訪市元町一  
の出身で、本名雄司。諏訪  
清陵高校から海にあこがれ  
て東京水産大学を卒業、約  
六年間商社会社でサラリー  
マン生活を送ったあと、脱  
サラしてプロになった異色  
作家です。

現在、朝日新聞、サンケ  
イ新聞、週刊ポスト、週刊  
文春、小説現代など新聞、  
雑誌に月約二十本の社会・  
政治風刺漫画を掲載してい  
るマスコミの売れっ子。ほ  
かに単行本も何冊か出して  
いる。

漫画をかく際、特に気を  
つけているのは、子供、年  
寄りが見てもわかりやすく、  
面白い、といった点で「庶  
民感覚を失っては、風刺漫  
画は成り立たないですから」と語っています。

諏訪市出身のイラストレ  
ーター・山田紳さん(四二)  
『62回生』が第二十八回文  
芸春秋漫画賞を受賞、六月  
十八日午後六時から東京の  
赤坂プリンスホテルで贈呈

新聞のほか小説・童話の  
挿絵、広告、CMなど仕事  
のジャンルも広く、今後の  
活躍が期待されます。山  
田さんは千葉県浦安市入船  
在住。



全国区制なわばりバトルロイヤル 絵・山田 紳

# 訃報

56年5月から  
57年5月まで

**篠原仁蔵さん** 五月二十  
二日死去。七十四歳。茅野  
市北山湯川出身。死去され  
るまで諏訪郷友会事務局長  
兼長善館寮監として、郷土  
出身の学生たちのため尽力  
した。

出身、日大医学科卒業後  
同大附属病院、富士見高原  
療養所、旧湖南村の東英社  
附属病院を経て、豊田診療  
所、湖南診療所長を兼務、  
無医地区解消に務めた。小  
坂動態休質学の研究により  
医学博士号を得、新潟医大  
非常勤講師を勤めた。

**岩波寛さん** 六月十五日  
死去。八十五歳。下諏訪町  
出身。岡谷市で岩波炭灰店  
を創業。諏訪地区保護司会  
長、諏訪裁判所調定委員会  
長、諏訪市議会議員、選挙  
官、県知事表彰を受けた。

**湯沢悌二さん** 七月三十  
日肝臓癌にて死去。六十六  
歳。岡谷市出身。東芝蒲田  
工場勤務職場の要職にあつ  
た。

**小松卓郎さん** 六月六日  
死去。六十九歳。富士見町

**花岡和人さん** 六月十五  
日死去。八十八歳。岡谷市  
長地東堀出身。日本通運岡  
谷支店長を勤めたあと、岡  
谷市議会副議長、市選挙管  
理委員長、民生委員などを  
歴任した。

**春日昌太郎さん** 六月二  
十日死去。九十四歳。辰野  
町上辰野出身。卒業後家業  
の木材業を継ぎ、後に九十  
の木材業を継ぎ、後に九十

**藤森真司さん** 七月四日  
死去。五十四歳。諏訪市出  
身。東京消防庁に入り、都  
内の各消防署長を歴任、豊  
島消防署長、消防正監の現  
職にあつた。三月、自治大  
臣消防功労賞を受賞。

出身、日大医学科卒業後  
同大附属病院、富士見高原  
療養所、旧湖南村の東英社  
附属病院を経て、豊田診療  
所、湖南診療所長を兼務、  
無医地区解消に務めた。小  
坂動態休質学の研究により  
医学博士号を得、新潟医大  
非常勤講師を勤めた。

**岩波寛さん** 六月十五日  
死去。八十五歳。下諏訪町  
出身。岡谷市で岩波炭灰店  
を創業。諏訪地区保護司会  
長、諏訪裁判所調定委員会  
長、諏訪市議会議員、選挙  
官、県知事表彰を受けた。

**湯沢悌二さん** 七月三十  
日肝臓癌にて死去。六十六  
歳。岡谷市出身。東芝蒲田  
工場勤務職場の要職にあつ  
た。

**藤森真司さん** 七月四日  
死去。五十四歳。諏訪市出  
身。東京消防庁に入り、都  
内の各消防署長を歴任、豊  
島消防署長、消防正監の現  
職にあつた。三月、自治大  
臣消防功労賞を受賞。



## 豊かな明日を築くシェル

シェル石油特約店

# 株式会社 細川商店

諏訪市諏訪二丁目10番4号

代表取締役 細川 昭八 (第51回生)

専務取締役 矢島 千晴 (第41回生)

小川良さん 七月死去。発初代副総裁、水資源開発六十四歳。富士見出身。日公団総裁などを務めた電力立プラント建設に二十年間

伊藤芳男さん 八月八日死去。八十九歳。茅野市出身。諏訪通運常務、日本通

三浦修一さん 八月二十七日死去。五十七歳。下諏訪町出身。旧東京商科大卒

河西保三さん 十二月六日死去。七十八歳。諏訪市出身。明治薬専を卒業。東

茅野(諏訪)貞さん 九月十四日死去。八十二歳。諏訪市出身。三十五間に

茅野深志さん 八月十四日、交通事故で死去。十六歳(二年在学中)。茅野市出身。軟式テニス部に所属し

進藤武左門さん 八月二十七日、八十四歳で死去。小淵沢町出身。九州大卒。中国電力初代会長、電源開

退職後中国留学生大森寮長

日死去。十七歳(二年在学中)。諏訪西中では野球部員として活躍、清陵高では陸上部に所属していた。

狭原光太郎さん 十二月十三日、心不全のため死去。六十六歳。箕輪町中箕輪出身。松本高、東大文学部卒業。昭和薬科大教授、事務局長理事を経て、同大理事

池田誠さん 二月十五日死去。六十八歳。下諏訪町出身。松本高校から名古屋帝大卒。戦後諏訪日赤病院外科副部長として活躍、三

この間、諏訪市議、湯の脇区長などを務めた。

竹村信太郎さん 十二月三十一日死去。七十九歳。諏訪市出身。上諏訪町役場、一十砂糖店に勤めた。

今井哲一さん 二月十六日死去。六十三歳。茅野市出身。ガソリン節約エ

宮川出身。ガソリン節約エ

関係などの技術開発に専念、太陽電誘(株)の技術顧問を務

諏訪出身。諏訪市立中(中)として活躍、清陵高では陸上部に所属していた。

奥村忠中さん 二月三日死去。八十二歳。茅野市出身。長野師範卒後、茅野市

玉川、岡谷市湊各小学校教

歴任。在職中は故細川隼人氏とともに諏訪郷土史の研究に取り組み、実地踏査に

参加し、諏訪郡史編さん委員としての一翼を担った。

野市白樺湖畔に諏訪校舎を誘致した。

鮎沢治雄さん 十二月二日死去。八十歳。岡谷市出身。入一製系茨城県友

部支店勤務後、諏訪市で座

**株式会社 カカホ**

本社工場 長野県茅野市宮川4900  
TEL 茅野(02667)2-6111(代)

代表取締役 花岡 健雄 (46回)  
専務取締役 小川 義弘 (46回)

**マイクロエンジニアリング株式会社**  
MICRO ENGINEERING CO.,Ltd 取締役工場長 立木嘉彦 (46回)  
長野県茅野市ちの塚原989 電話 茅野(02667)2-6551(代)



